

1. 科目名（単位数）	社会 （2単位）	3. 科目番号	SJEL3421 EDEL3306 EDEL2306
2. 授業担当教員	小野 智一		
4. 授業形態	講義、演習、実習等を織り交ぜる。	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	同一年度に「社会科指導法」を履修することが望ましい。 本科目で指導要領の趣旨を理解し、「社会科指導法」においては指導案作成と授業実践を中心とする課題に取り組む。		
7. 講義概要	小学校社会科の教科の目標は、「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養う」という柱書部分と、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に沿った資質・能力に関わる具体的な目標で構成されている。本講義では、今回の改訂のねらいと目標、小学校社会科の目標と内容等について学修する。特に、各学年の目標と指導内容の特色等について具体的に検討する中で、習得型の知識と探究による知識活用について学び、社会科と各教科等との関連についても理解を深める。さらに、社会科学学習に必要な学び方や調べ方を身に付ける学習や体験的な学習、問題解決的な学習を一層重視する社会科学学習の在り方についても検討していく。		
8. 学習目標	「社会」の学習が終了した時点で、学生には下記の目標を達成することが期待される。 1. 小学校社会科の意義、目標、及び各学年の目標・内容を理解し、説明できるようになる。 2. 社会生活の内容について、地理（自然・国土・産業）、歴史、公民の各分野の特徴を述べるができる。 3. 小学校社会科の指導計画作成・学習方法や小学校社会科の評価規準について理解し、説明できる。 4. 授業においては、班活動の重要性を理解し、役割を分担し協力態勢のもとで、調査・体験・作業的な学習や話し合い・発表学習ができる。		
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	各回に設定するアサインメントは以下の内容になります。 ①：教育基本法より、社会科に関係する箇所・条文を見つけよう。 ②：各学年の目標のうち、「理解に関する目標」について、学年を追ってどのような発達を子どもに期待しているのかまとめなさい。 ③：指導計画を作成する上での配慮事項にはどのようなものがあるのか。要点をまとめなさい。 ④：学習指導案作成にあたってのポイントを整理しなさい。 ⑤：「言語活動」とは何か説明しなさい。 ⑥：「身近な地域」とは何か説明しなさい。 ⑦：地図記号の意味について説明しなさい。 ⑧：見学（観察調査）の注意事項をまとめなさい。 ⑨：「国」の定義について説明しなさい。 ⑩：社会の変化を示す統計資料を見つけ、グラフにまとめなさい。 ⑪：42名の歴史上の人物について紹介文をつくりなさい。 ⑫：道徳教育の目標を説明しなさい。 ⑬：「災害復旧」における行政の取り組みについて取り上げた資料を紹介しなさい。 ⑭：海外の食生活の様子について観察できる資料を見つけ、紹介しなさい。 講義では上記をリーディングアサインメント（RA）と称して事前・事後学習課題を作成し、配付します。授業内で解説することになりますが、事前に教科書を読んで課題を解答してください。なお、解説後は事後学習ののちに教員に提出することとします。提出方法については授業内で案内します。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 文部科学省『小学校学習指導要領解説（平成29年告示）社会編』日本文教出版、2018。（以下、シラバス内ではこの文献をテキストと呼称します。） ※秋期科目「社会科指導法」（小野担当）にて使用するテキストと共用します。 【参考書】 1) 唐木清志（編著）、永田忠道（編著）『新・教職課程演習 第11巻 初等社会科教育』協同出版、2021。 2) 日本社会科教育学会編『社会科教育事典』ぎょうせい、2024。 「調べ学習」「ポートフォリオ」や「ポスターセッション」など社会科授業を創る上でのキーワードや理論について事典様式で解説がなされている。アカデミックの色彩が強い書籍なので発展的学習のための材料としてここに紹介します。 3) 文部科学省『中学校学習指導要領解説（平成29年告示）社会編』東洋館出版、2018。 ・文部科学省『小学校学習指導要領解説（平成29年告示）総合的な学習の時間編』東洋館出版社、2018。 中学校指導要領の内容については、教科書の付録にもある。また、総合的な学習の時間についての理解は必須である。生活科についても同様だが、各教科間の関係性について注目してみると指導計画を立てる上で有意である。 4) 2万5千分の1地形図。 国土地理院が発行する地図。講義内では巡検地域の地形図を事例提示するが、教育実習で勤務する学校の含まれた地形図や学生自身が慣れ親しんだ地域の地形図をみて、実際の光景と地図上での見え方についての感覚をトレーニングすることが大切。地域に根ざした社会科授業を作り上げる過程で生きてくる力となる。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 目標の実現度において評価する。 ○評定の方法 日々の授業態度、参加度 40% レポート課題 60%		
12. 受講生へのメッセージ	受講生の多くは将来、小学校教諭を志すと推察します。小学校教諭の資質として、「子どもが好き」であること、「子どもの心身の成長を支援したい」という意欲とそれを果たそうとする責任感など様々あります。しかし、同様に大事にしなければならないこととして、本科目をはじめとする各教科の学習指導です。成長過程にある子どもは		

	様々な学びをします。その学びの機会に、保護者以上に関わるのが小学校教諭です。これは、子どもを託した保護者との信頼関係を築くことにも影響が及ぶものです。 本科目をきっかけとして、社会的な事象への関心を深め、「社会」のありようを伝え考えさせることができる様にしていきたいと思います。 また、本科目では教科指導を通して、いじめ問題、キャリアデザインといった課題を解決することを考えていきます。学外の研究団体との交流なども機会を設け、教室と現実社会のつながりを味わわせられる授業づくりを目指していきます。学外での授業発表の機会も計画しています。 本科目では、受講生に期待される学習態度として、以下の条件を設定しています。 ①授業に集中してください。(積極的に参加、質問し、課題を残さないこと。私語・居眠りの厳禁) ②欠席、遅刻、早退については、事由を教員に書面をもって報告してください。(事後に提出してください。事前は口頭報告するようにしてください) 正当な理由であっても、必要な時間数に不足する場合は、不合格となります。 ③明らかに受講態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行います。指導後も受講態度の改善が見られないと判断された場合、課題提出の状況如何に関わらず単位の修得は認めません。 ④教員による解説中は携帯電話の電源を切ってください。電子辞書等の学習支援機器は授業内容に応じて使用の許可を出すこととします。 また、教員は次のことを実行します ①授業の目的・目標を明確に示し、授業の進行はシラバスに沿って行います。 ②受講生全員に聞こえる大きさの声で話をします。また、専門用語はわかりやすく説明します。 ③一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加(発言・発表等)できる双方向対話型の学習環境を作ります。 ④遅刻・早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話(メール・通話)の使用その他、授業に臨む上で不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処します。 本科目では、基礎的な学習習慣づくりにも取り組みます。講義時間内で作業指示がなされたときなどに他者の学習を阻害する行為をした場合は減点対象とします。受講生各自が社会人として自立成長しようという自覚を持って講義に参加することを期待します。		
13. オフィスアワー	講義前後の時間もしくは e-mail にて対応します。 toono@ed.tokyo-fukushi.ac.jp 時間割判明後、講義内にて案内します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	①オリエンテーション(シラバスを必ず持参すること。コピーでも可。) ②社会科教育の意義を考える	事前学習	課題:「社会科」に期待されていることは何だろう。 テキスト pp.1～9を読み、改訂された学習指導要領の性格をまとめよう。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。次時以降のリーディングアサインメント(RA)に取り組む。
第2回	社会科教育の歴史と教育基本法 学習指導要領(試案)誕生から現在までの教科「社会」の変遷。教育基本法に見る社会科教育の課題と方向性。	事前学習	課題①:教育基本法より、社会科に係る箇所・条文を見つけよう。課題②:戦後に登場した社会科はどのような内容であったのか。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。次時以降のリーディングアサインメント(RA)に取り組む。
第3回	社会科の目標と内容 教科の目標、各学年の目標、各学年の内容について概観する。	事前学習	課題:各学年の目標のうち、「理解に関する目標」「能力に関する目標」について注目し、学年を追ってどのような発達を子どもに期待しているのか説明してみよう。テキスト pp.10～17を参照するとよい。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。次時以降のリーディングアサインメント(RA)に取り組む。
第4回	社会科の指導計画 指導計画作成上の配慮事項、各学年にわたる内容の取り扱いと指導上の配慮事項	事前学習	課題①:指導計画を作成する上での配慮事項にはどのようなものがあるのか。要点をまとめよう。 課題②:各学年にわたる内容の取り扱いと指導上の配慮事項にはどのようなものがあるのか。要点をまとめよう。 テキスト pp.100～107を参照するとよい。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。次時以降のリーディングアサインメント(RA)に取り組む。

第 5 回	社会科の学習指導案 授業の映像資料をみて、実践者が意図した授業の展開について再現を試みる。	事前学習	課題：学習指導案作成にあたってのポイントを整理しよう。授業の時に大切にすることは何か。その根拠も含めて各々リストアップしておくこと。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。次時以降のリーディングアサインメント（RA）に取り組む。
第 6 回	社会科における評価 「言語活動」を事例として社会科授業で取り組まれるレポート作成や新聞づくり、劇化表現などの意義について考える。	事前学習	課題：社会科における「言語活動」はどうあるべきか。具体的な指導方法を 1 点取り上げ、どう評価するのか説明しよう。言語活動は例えば実践としてはレポ〜ト作成や新聞づくりなどの形で現れる。その成果をどのような観点で評価するべきか考える。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。次時以降のリーディングアサインメント（RA）に取り組む。
第 7 回	第 3・4 学年の地域学習① 地域の様子を実際に観察させる学習活動をどのように構成するべきか考える。	事前学習	課題：「地域における社会的事象を観察や調査する」にあたり具体的に組みませる時のポイントを指摘しよう。見学活動指導での注意点をリストアップしてみる。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。次時以降のリーディングアサインメント（RA）に取り組む。
第 8 回	第 3・4 学年の地域学習② 地形図と地図記号指導の実際について考える。	事前学習	課題：地形図から「地形」「土地利用の様子」を読み取ろう。 地元や実習先の学区、または大学付近の地形図を見て気になった場所をリストアップしてみる。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。次時以降のリーディングアサインメント（RA）に取り組む。
第 9 回	第 3・4 学年の地域学習③ 大学周辺を地形図持参で見て歩き、地図上での見え方と実際の地形を比べてみる。地形図上での表記と実地での違いがある場合など子供に観察させるときのポイントを考える。	事前学習	課題：地域巡検を実践しよう。 テキスト pp. 20～24 を参照し、コース案を考えてみる。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。次時以降のリーディングアサインメント（RA）に取り組む。
第 1 0 回	第 5 学年の国土学習 我が国の位置と領土について調べる際の留意点について考える。	事前学習	課題：我が国の位置と領土について調べる際の留意点について説明しよう。 テキスト pp. 51～52 を参照。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。次時以降のリーディングアサインメント（RA）に取り組む。
第 1 1 回	第 5 学年の産業学習 資料を活用する学習を進めていく上での留意点を図式資料（特に統計）の活用場面を事例に説明する。	事前学習	課題：統計資料にはどのような種類があるのか。またそれぞれの特性について考えよう。 身近な統計データの一つを取り上げどのように授業で活用できるのか考えてみる。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。次時以降のリーディングアサインメント（RA）に取り組む。
第 1 2 回	第 6 学年の歴史学習① 先人の業績や文化遺産について興味関心をもたせ理解を深めるための指導をする上でのポイントは何か考える。	事前学習	課題：先人の業績や文化遺産について興味関心をもたせ理解を深めるための指導をする上でのポイントは何か、指摘してみよう。 テキスト pp. 75～87 を参照。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。次時以降のリーディングアサインメント（RA）に取り組む。
第 1 3 回	第 6 学年の歴史学習② 社会科と道德教育の関係について、学習指導要領ではどのように説明されているか。	事前学習	課題：社会科と道德教育の関係について、学習指導要領ではどのように説明されているか。指摘してみよう。 テキスト p. 104, pp. 138～139 を参照。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。次時以降のリーディングアサインメント（RA）に取り組む。

第 1 4 回	第 6 学年の政治学習 「災害復旧の取り組み」を事例として政治の働きについての学習を進める上でのポイントを考える。	事前学習	課題：「災害復旧の取り組み」を事例として政治の働きについての学習を進める上でのポイントを指摘してみよう。 テキスト pp. 88～93. を参照し、教材案を考えてみる。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。次時以降のリーディングアサインメント（RA）に取り組む。
第 1 5 回	第 6 学年の国際理解学習 「異なる文化や習慣の違い」に触れる学習について、「食文化」を事例として教材について考える。	事前学習	課題：「異なる文化や習慣の違い」に触れる学習について、「食文化」を事例として教材を探してみよう。 テキスト pp. 94～99. を参照し、教材案を考えてみる。
		事後学習	本時の学習を振り返り学習内容の定着を図る。秋期の社会科指導法のシラバスをもとに授業実践として「社会」をどのように構成していくのか見通しをもつ。